

「知恵の経営」実践モデル企業認証制度

多くの企業には、強みの源泉となる「知恵」があります。
こだわりの経営方針や、技術を構築する人づくり、経験の蓄積から生まれたノウハウ、
顧客との強いつながりなどです。

京都府では、中小企業の皆様が、自社の知恵を新たな視点で見つめ、報告書にまとめる中で、
知恵を使って課題を克服し、経営を発展させるための支援を行っています。

制度活用企業からの声

「今までにない業種から 新しい仕事の依頼が！」

伝統工芸品の製造者が、業界専門用語をより分かりやすく伝えられるようになり、製品の魅力や製造工程などの発信力を強化出来た。

「リードタイムが半減、 コスト縮減できた！」

従業員全員が職人というモノづくり企業が、経験や勘中心の仕事のやり方を見直し、ムダ・非効率を改善出来た。

「スタッフ全員でお客様の 満足につながるサービスを 考えられるようになった！」

スタッフ勉強会を立ち上げ、会社の理念や思いを共有し、サービスの質を向上出来た。

認証のポイント

- ①知恵の評価 保有する「強み」（知恵）の特異性・優位性・成長性
- ②知恵の把握と活用 「強み」（知恵）を活かした経営戦略の実現性、市場における適合性
- ③知恵の開示 「強み」（知恵）の説明可能性と成長発展戦略の具体性

認証による優遇措置

資金支援 文化産業振興資金

- 独自の技術等を活かして成長発展する資金を低利・固定で融資し、積極的な事業展開を支援する制度

広報支援

- 京都府等のHPで貴社を紹介
- その他、様々なツールでPRします

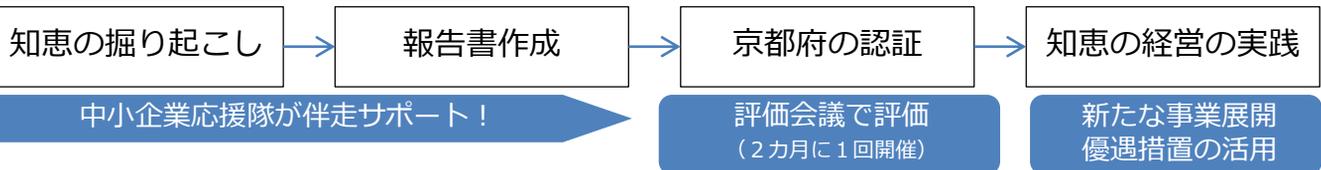
情報提供

- メルマガ等での支援情報のリアルタイム提供

販路開拓 チャレンジ・バイ

- 貴社製品を京都府庁が入札なしに購入可能（※購入を約束するものではありません）
- 病院、社会福祉施設等の購入助成制度、京都府庁での率先購入による支援

制度活用の流れ



リメイクのススメ 知恵の経営報告書の有効期間は2年です。2年経過後はぜひリメイクを！

内容：当初版で発掘した「知恵」の活用方法を見直し、新たな「知恵」の発掘から取り組む、等（手続は当初同様）
リメイクの例

【A社】当初版：社長の経営戦略づくり⇒リメイク版：後継社長と従業員で作成、円滑な事業承継と社内統制

【B社】当初版：社内マネジメント⇒リメイク版：社外コミュニケーションツールとして新規顧客開拓

お問い合わせ・御相談は、お気軽に！

京都府商工労働観光部産業振興課 TEL 075-414-4851 URL <http://www.pref.kyoto.jp/sangyo-sien/index.html>

京都府知的財産総合サポートセンター（（一社）京都発明協会） TEL 075-315-8686

中小企業応援隊（商工会、商工会議所、京都府中小企業団体中央会、京都府商工会連合会等）